

「命令下つても行くな」

戦争法の根底にある日米同盟と、憲法との激しい矛盾の最前線にいる自衛隊員とその家族は、いま何を思うのか。

憲法施行70年 先駆者

第1部 9条は生きている ②

北海道

「命令が下つても南スーダンに行くな」
北海道千歳市で自衛官の母親が涙ながらにつづった「絶縁状」を息子に手渡しました。

「恨まれるより、死なれるほうがつらい」。20代の次男が陸上自衛隊に所属する平和子さん（仮名、50代）の思いです。

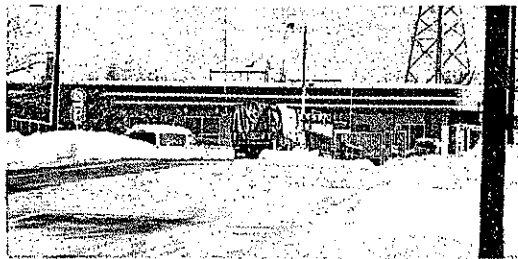
安倍政権を相手取り、南スーダン国連平和維持活動（PKO）派遣の差し止め訴訟を決意しました

平さんの次男が勤務する陸上自衛隊千歳駐屯地

自衛官の母親として、南スーダンPKO派遣差し止め訴訟をたたかう平和子さん



戦争法を強行し、日米同盟は「希望の同盟だ」と繰り返す安倍晋三首



相。平さんは、日米同盟こそ憲法を踏みにじり続けてきた元凶だと反論します。

「日米安保条約のもとだと批判しています。」

で米軍に守られていると平さんの次男が所属する東千歳駐屯地の元隊員アメリカが起す戦争の手伝いをさせられてきた南スーダンに行けと命令

が実態ではないです。『有事』となれば自衛隊は米軍の指揮下に入り、手下として使われる。国土を守るために誇りを

か。『有事』となれば自衛隊は米軍の指揮下に入り、手下として使われる。国土を守るために誇りを

か。『有事』となれば自衛隊は米軍の指揮下に入り、手下として使われる。国土を守るために誇りを

か。『有事』となれば自衛隊は米軍の指揮下に入り、手下として使われる。国土を守るために誇りを

か。『有事』となれば自衛隊は米軍の指揮下に入り、手下として使われる。国土を守るために誇りを

か。『有事』となれば自衛隊は米軍の指揮下に入り、手下として使われる。国土を守るために誇りを

かされる。自分の産んだ子も、どの子も殺されたくない、殺させたくない。母親なら誰もが持つ気持ちではないでしょうか

戦争法反対のたたかいのなか、2015年7月の発足から全国に広がる「安保関連法に反対するママの会」の思いにもつながります。

「息子は私の宝物です。自衛隊員は日本の宝物です。この子たちの命を犠牲にする政治に怒らないといけない。自衛隊員を将棋の駒のように戦地へ送るなんて許せません」

自衛隊員やその家族の心の中にも、9条は息づいています。(つづく)